

公益財団法人 全日本仏教会

第 33 期会長・副会長

(任期 平成 30 年 4 月 1 日より 2 年間)

会 長	えがわ 江川	しんざん 辰三	そうどうしゅう 曹洞宗 管長
副会長	たなか 田中	しょうとく 昭徳	しょうかんのんしゅう 聖観音宗 管長
副会長	もりた 森田	しゅんろう 俊朗	和宗 管長
副会長	さがわ 狹川	ふもん 普文	けごんしゅう 華嚴宗 管長
副会長	わだ 和田	たいが 大雅	神奈川県仏教会会長
副会長	いとう 伊藤	しょうどう 正導	愛知県仏教会会長
副会長	ふじた 藤田	りゅうじょう 隆乗	日韓仏教交流協議会会長

※役職等記載事項は 2018(平成 30)年 5 月現在



江川 辰三 (えがわ しんざん)

【現職】

曹洞宗管長

大本山總持寺貫首そうじじかんしゅ (神奈川県横浜市鶴見区)

【最終学歴】

駒澤大学文学部 卒業

【生年月日】

昭和3年3月7日生まれ (満90歳)

【出身地】

山梨県北杜市

【略歴】

昭和56年10月～昭和59年3月	曹洞宗審事院 副院長
平成8年1月～平成11年2月	大本山總持寺 監院
平成11年10月～平成15年4月	大本山總持寺祖院 監院
平成11年12月～平成15年6月	大本山總持寺祖院 専門僧堂 堂長
平成20年9月～平成23年4月	愛知県小牧市 正眼寺 住職
平成22年3月～平成23年4月	大本山總持寺 副貫首
平成23年4月～	大本山總持寺 貫首
平成23年4月～平成24年1月	曹洞宗 管長
平成26年1月～平成28年1月	曹洞宗 管長
平成30年1月～	曹洞宗 管長



田中 昭徳 (たなか しょうとく)

【現職】

しょうかんのんしゅう
聖観音宗管長

総本山浅草寺中興第28世貫首せいかんす(東京都台東区浅草)

【最終学歴】

武蔵野音楽大学音楽学部作曲学科卒業

【生年月日】

昭和7年2月7日生まれ(満86歳)

【著作(主な仏教音楽作品)】

「交声曲 世尊 ～覚りへの道～」、

「カンタータ 仏陀」、「カンタータ 塔」 他多数



森田 俊朗 (もりた しゅんろう)

【現職】

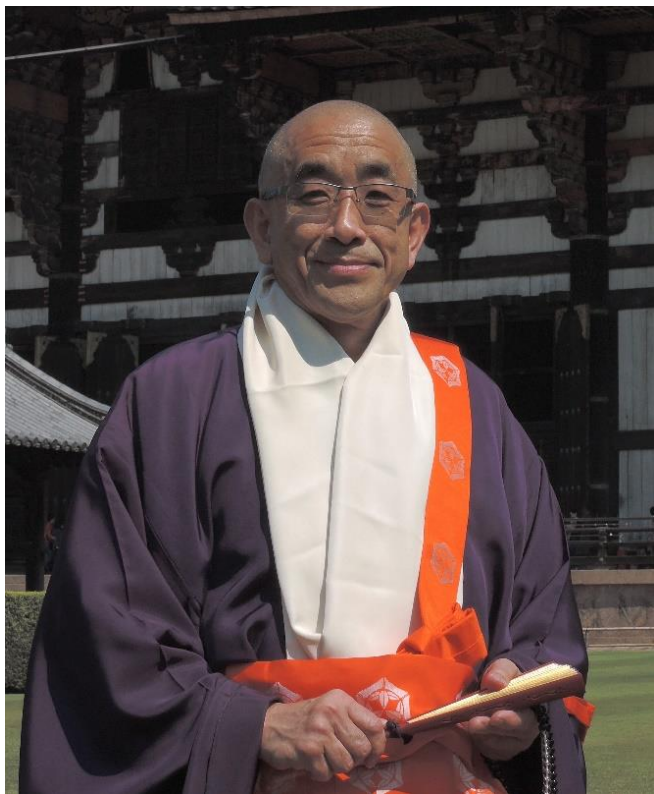
和宗 総本山四天王寺第112世管長
(大阪府大阪市四天王区)

【最終学歴】

和歌山大学経済学部卒業

【生年月日】

昭和17年7月13日生まれ(満75歳)



狹川 普文 (さがわ ふもん)

【現職】

けごんしゅう
華嚴宗管長

第222世東大寺別当^{べっとう}（奈良県奈良市雑司町）

【最終学歴】

龍谷大学大学院仏教学専攻（修士課程）修了

【生年月日】

昭和26年3月31日生まれ（満67歳）

【著作】

「東大寺～境内の四季と小さな命たち～」



和田 大雅 (わだ たいが)

【現職】

神奈川県仏教会会長（神奈川県横浜市中区）

神奈川県宗教連盟理事

真言宗御室派準別格本山知足山龍華寺住職

【最終学歴】

日本大学大学院哲学専攻（修士課程）修了

【生年月日】

昭和17年12月8日生まれ（満75歳）

【著書】

「真言の教え」



伊藤 正導 (いとう しょうどう)

【現職】

愛知県仏教会会長（愛知県名古屋市天白区）

愛知県宗教連盟理事長

真宗大谷派 正賢寺住職

【最終学歴】

同朋学園 同朋大学仏教科卒業

【生年月日】

昭和 22 年 2 月 3 日生まれ（満 71 歳）



藤田 隆乗 (ふじた りゅうじょう)

【現職】

日韓仏教交流協議会会長

（神奈川県川崎市川崎区）

真言宗智山派大本山川崎大師平間寺第 45 世中興第 2 世貫首

神奈川県仏教会顧問

【最終学歴】

大正大学大学院文学研究科仏教学専攻

（博士課程）単位取得退学

【生年月日】

昭和 30 年 3 月 24 日生（満 63 歳）

(公財)全日本仏教会 第33期会長・副会長について

(公財)全日本仏教会(以下:本会)は、11月15日に開催した第19回理事会において、本会第33期会長・副会長を別紙の通り決定いたしました。伝統仏教界の象徴として、国内外問わず、様々な場で日本仏教を発信してまいります。

●どのように決定したのですか？

→2017(平成29)年11月15日(水)に開催した、会長副会長候補者推戴委員会にて候補者を決定し、同日開催の第19回理事会で決議を経て、正式に就任が決定しました。

●候補者になった経緯は？

→伝統仏教界の象徴として、本会加盟団体から候補者を選定しました。

会長は負担金上位10宗派(曹洞宗・浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・浄土宗・日蓮宗・高野山真言宗・臨済宗妙心寺派・天台宗・真言宗智山派・真言宗豊山派)から候補者を選定します。副会長は上記10宗派以外の宗派・都道府県仏教会・仏教団体から候補者を選定します。

→今回の就任者は、関東を代表する寺院の一つである總持寺(曹洞宗)、浅草寺(聖観音宗)、川崎大師(真言宗智山派・平間寺)や、関西からは東大寺(華嚴宗)、四天王寺(和宗)など、日本人のみならず海外の方も多く参拝する寺院であり、国内への伝統仏教の発信と同時に、2018年11月開催のWFB世界仏教徒会議日本大会にあわせ、海外への日本仏教の発信も担います。

●任期は？/第33期とは何ですか？

→任期は2018(平成30)年4月1日から2年です。

→本会は1期2年で事業を推進しており、2018(平成30)年4月1日～2年間の第33期に該当します。

●会長・副会長はどのような役割を担いますか？

→伝統仏教界の象徴として、様々な行事に参加をいたします。

法要やレセプションへの出席だけでなく、過去には、日本記者クラブでの講演、世界経済フォーラム(ダボス会議)での発言など、国内外問わず日本の伝統仏教を発信する役割を担います。

●各人の写真データを使用したのですが？/取材をしたいのですが？

→広報文化部にお申し付けくだされば、画像データをお渡します。

→取材については、広報文化部にご相談ください。